



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年10月23日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

心臓移植で救われた夢

広島市の元高校教諭、森原大紀さん(33)＝写真＝は、心臓移植を受け、命をつなげました。学生時代はレスリングに熱中し、病と無縁の生活を過ごしていたのですが、教員生活2年目の冬に突然、体に異変を感じたのです。心臓のポンプ機能が低

下し、血液がうまく循環できなくなってしまう難病でした。

一時は絶望していましたが、家族の支えや補助人工心臓を取り付ける手術を行いました。体調が安定すると、臓器移植の啓発活動に取り組み始めたのです。日本では臓器移植に対

23日(日)＝1、3面

する理解が進んでいない現実を知ったからでした。

そして、闘病生活を続けていたある日、ドナーから心臓提供を受けました。「命のリレー」。その言葉の意味をかみ締める森原さんの心境に迫ります。

論点 「維新の会」結党10年

26日(水)＝オピニオン面

日本維新の会の結党から10年がたちました。野党でありながら時には政権与党にくみし、他の野党を激しく攻撃するスタンスで、最近の国政選挙では議席を増やしています。栄枯盛衰の激しい政界でな

ぜ10年間存続できているのでしょうか、その手法に限界はないのでしょうか。党を創立した松井一郎さん＝写真＝、ライバルである立憲民主党参院議員の福山哲郎さん、主権者教育に取り組む「笑下村塾」

代表のたかまつななさんに聞きました。



旧統一教会に「質問権」初行使へ

26日(水)＝3面

岸田文雄首相＝写真＝は、靈感商法や高額献金が問題視されてきた世界平和統一家庭連合(旧統一教会)を、宗教法人法に基づく「質問権」を行使して調査するよう指示しました。政府は裁判所への解散命令請求を視野に、年内に

も調査に着手するとしています。まずは専門家会議で調査の基準を検討することになりますが、憲法が保障する信教の自由との兼ね合いなどもあり一筋縄で進みそうにはありません。初の行使となる質問権に迫ります。

特集ワイド 「妻はサバイバー」著者に聞く

25日(火)＝夕刊特集ワイド

朝日新聞記者・永田豊隆さん(54)＝写真＝が書いた「妻はサバイバー」がノンフィクションの労作として話題となっています。妻は結婚後に性犯罪の被害者となり、摂食障害

やアルコール依存症などに苦しみ、46歳でアルコール性認知症と診断されたといいます。

「自分の経験を表に出すことで、長く不満を感じてきた精神科医療や社会保障の不備を

改めるのに役立つかも」と永田さんは執筆の動機を語っています。



竹橋の窓辺から

編集後記

毎日新聞のCMに出演している俳優のんさんの新連載「月刊のん」が26日の朝刊から始まります。のんさんには東日本大震災からの復興支援やSDGs、音楽活動、フアッションブランドのプロデュースなど、大事にしている価値がたくさんあります。連載では、のんさんが日常の中で感動したことや心に残ったことを赤裸々に語ります。毎月第4水曜日に掲載します。ご期待ください。

